

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハッピーテラス安岡教室		公表日		
				R8 年 2 月 10 日		
		チェック項目	(はい)	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用者の特性や、その日の状況に合わせて部屋を仕切り、活動に合わせて使っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		職員数は適切です。	子供の特性に合わせて、男性職員・女性職員の配置を検討しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーになっていて、死角がないように職員配置をして、見守りをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎朝、清掃と安全チェックをしています。室内は白を基調とされており、明るい空間づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンや宿題に集中したい児童の為に、職員と一緒に相談室を利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		業務後、職員全員で振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		ご意見いただいた点を改善するように努めています。年2回程、アンケートを実施し、職員全員で振り返りを行い、改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員同士で情報共有し改善方法を話あい、（まずお試しで取り組んでみよう！）と色々な方法を試して、良い形を探しています。すぐに取り掛かることを心がけています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	本部の視察や、相談員さんの見学の際に意見を聞いています。	他事業所と評価を交換することを検討中。評価項目は「安全」「支援内容」「記録」「家族連携」「環境」「スタッフ体制」などに整理し、職員が改善項目を把握しやすくしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部研修・外部研修に参加し、終了後に研修報告をすることで、知識を深めています。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HP・教室玄関に提示しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		個々の特性に合わせて、職員間で話し合う機会を設け、適切に計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員会議で全職員が共通理解をしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援など、重点的に支援をする仕組みを作っています。新たな問題に対する話し合いの時間を取るよう、全体計画は早めに精査するように努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		定期的にモニタリングを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		地域のボランティアや、地域行事に参加し連携をとっています。	保護者や関係機関との連携と信頼関係を深め、支援ができるよう家族支援、地域支援にも力を入れます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員が考えた案を全体で話し合い、よりよい活動になるようにブラッシュアップさせて立案をしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		年間カリキュラムをもとに、内容を確認し、同じトレーニング（活動）内容にならないように工夫しています。	机上活動のみ、協調運動のみと偏らないようにバランスの取れたプログラムを組んでいきます。

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの特性だけでなく、その時の子供の状況に合わせて、適時見直しをして、支援をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		活動内容と担当の配置、注意事項や、専門的な支援方法など連携を取れるように支援開始前に話し合いをしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後に振り返りを行い、改善点の話し合いと、記録をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日の支援記録を目標に照らし合わせて記録しています。担当に限らず、気づいたことを記録に取り、支援の検証、改善につなげるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		日々の様子を記録しつつ、大きく変わったことがあった際には全体で共有し、必要な支援を相談しています。支援が合っていないと感じた場合は見直しを行っています。今まで通り、全体共有と、相談、検討を続け、支援の方法を計画する。職員のアセスメント能力を上げていく研修を行います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		週間テーマに合わせたトレーニング活動を行っている。余暇時間の中で人との関係性等モニタリングしつつ、必要な支援を行っています。偏りのない支援を計画しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		トレーニングの中で、拳手する機会などを設け、自分で参加を選択出来るようにしています。自己決定力を高める支援として、発言できる環境や楽しく取り組める活動の選択肢を増やしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が必要な情報をまとめ、参画しています。自発官の元、職員全体で情報共有していきます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		送迎時に学校の先生から様子を伺うなど、必要に応じた情報交換をしています。学校の参観日に参加し、先生との連携を取ることで、支援計画に活かしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校のプリントを確認し、下校時刻の確認を行っています。必要に応じて学校に連絡をして下校時刻に齟齬がないように確認を行っています。連絡調整を継続して行います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		新規開設のため、就学後からの利用児のため、現在は就学前との関係機関との情報共有はできていません。該当する利用者がいる場合の連携の取り方を準備しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	今年度、該当者はいません。	今後、移行がある時に備え情報の提供を円滑にできるファイルなどを作成していきます。来年度以降は、情報共有と相互理解に努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			必要に応じて情報共有は行っていますが、これまで以上に繋がり強化を心掛けてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	今年度は夏休みに近隣学校でのボランティアと一緒にできないかを検討しましたが、暑さの為合同での活動ができませんでした。来年度は、交流の機会を作っていきます。	計画の作成や事前告知を含む各種準備について、早期に取り掛かることを徹底し、スムーズに実施できるよう体制を整えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		毎月、通所分科会へ参加しています。継続して参加し、職員全体へフィードバックを行います。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に様子を伝えていきます。課題を感じた際には共有し、事業所で行う支援や家庭で取り組んでほしい支援を伝えていきます。トレーニングでの様子を提示しながら状況や進捗をより詳しく報告しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ハッピー通信を毎月配布し、子どもの気付きや支援について掲載しています。	情報提供や研修ができるイベントを開催できるようにババママカフェを開催予定。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っています。契約時に丁寧に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		書き換えの都度、意向の確認や支援内容の確認をできるだけ対面でしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		送迎時やモニタリングのみでなく、3か月に1度参観週間を設け、希望者とお話をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリング・参観・ラインでの相談・電話での相談など、個別に相談支援を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		イベント等の開催予定の際には事前にお知らせするとともに、その都度相談の申し込みがあった際は、日時の調整と対応をしています。保護者参加型イベントで交流の場を作っています。今年度、緑と触れ合おう会・3教室合同忘年会など)	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご意見をいただいた際には、職員全員で協議をし、改善策をこども、保護者にお便りを出すなど、周知しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		ハッピー通信の発行や、長期休みの活動内容を発信しています。	今後、HPの充実を図ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		目隠しファイル、シュレッダーを用いて、個人情報が出ないように努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードなどを活用し、本人が要求を伝えやすい環境を整えています。また、学校や保護者と情報共有を行い、一貫した支援が提供できるよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		夏祭り・ハロウィンなど、季節の教示を通じて地域の方を招待しました。また、地域ボランティアにかかわり、地域の一員となって活動をしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルをもとに訓練を実施しています。 (引き渡し訓練など)	今後、マニュアルの要点を保護者にわかりやすくまとめた資料を配布して安全意識を高めてもらいます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に避難訓練を実施するとともに、今年度は保護者に協力していただき、引き渡し訓練を行いました。また公共の施設に行き、子供たち実践的な避難訓練もしました。	災害時を想定して、非常食を食べる練習などを行います。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		毎日、健康チェックをして、利用者の変化にすぐに気が付けるようにしています。	半年に一回、服薬状況などを確認していきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5	医師の指示書がある利用者がいない。	食事提供はないが、アレルギー品目のチェックは確認をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画のマニュアルをもとに、研修訓練を行っています。毎日、施設設備や、玩具の点検・消毒を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		災害時の営業や送迎などについて、保護者に文章として配布しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		職員会議や日々の会話の中で、ヒヤリハットについて話し合っています。会議や、日々の朝礼時に共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		対話型の研修やロールプレイなど実践的な研修を行い、意見交換をして、職員が意見を出せる仕組みを作っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		研修を通じて個々の児童の特性について職員間で共有・検討を行い、その内容を踏まえて、身体拘束に関する説明を保護者へ適切に実施できる体制を整えています。	保護者への十分な説明と理解の部分で、【説明した】ではなく、（理解されたか）の確認をしています。事例を使うなどして、わかりやすく、不安にならないように説明をしています。